

愛媛県自衛隊入隊・入校激励会

激励会には入隊・入校予定者とそのご家族のほか、自治体首長、自衛隊の部長、協力団体の関係者や一般の入場者約500名が出席し盛大に行われました。

入隊・入校激励会は2部構成で行われ、第一部の激励会では入隊・入校予定者が一人ひとり紹介され来賓の方々とお手しなごらの入場が始まり、三好家族会会長の主催者代表挨拶に続き、来賓を代表して衆議院議員の横山議員、副知事及び第14旅団長から祝辞をいただきました。四国の防衛警備を担任する第14旅団長から「わが国の防衛、災害派遣、国際貢献を任務とする崇高な道を選択されたことに心から敬意を表したい。これまでの生活に比べれば不自由を感じることも多いかもしれませんが、みなさんの周りには同じ志を持った仲間がたくさんおり、みなさんを真剣に成長させようと親身になって指導する教官がいます。今から3ヶ月、夏ごろには見違えるほど大きく成長したみなさんがいます。どうか安心して入隊・入校してください。」と述べられ、入隊・入校予定者の不安が払拭されました。その後、先輩隊員である松山駐屯地松本土長の激励の辞、防衛大学校入校予定者である石水黎君が抱負を述べました。また、サプライズで入隊・入校予定者のご家族を代表して、陸上自衛隊高等工科学校入校予定の西楽人君のお父さんが「兄に続き高等工科学校に入校する君を誇りに思う。」と話され、会場中が感動に一つなりました。第2部では、第14音楽隊によるコンサートが行われ、陸海空自衛隊行進曲メドレーから始まり1分間指揮者体験のコーナーなどでおおいに盛り上がり、入隊・入校予定者の門出を祝うことができました。

入隊・入校予定者全員が無事入隊・入校し、自衛官として立派に成長して行くようこれからもしっかりと支援していきます。

平成28年度愛媛県自衛隊入隊・入校激励会



兄に続き高等工科学校に入校する君を誇りに思う

UH-1体験搭乗



記念撮影をしました。

1月28日及び2月18日小野演習場において愛媛県の募集対象者及び募集協力者等78人に対し、中部方面航空隊（隊長 森貴義1等陸佐）の支援を受けUH-1ヘリコプターによる体験搭乗を実施しまし

両日とも1月・2月の天候とは思えないほど、ほぼ快晴で「松山の空の散歩」を満喫しました。

全般説明、安全教育及び記念撮影を行った後、ヘリのエンジンがかかり、目の前でヘリコプター独特のプロペラ音と風圧の迫力を体験した参加者は搭乗する前から興奮気味でありました。空の散歩を終えた参加者から、「上空から自分の住んでいるところを見るのは初めてで良い経験ができました。」「ぜんぜん不安なく乗れました。自衛隊への興味が深まりました。有り難うございました。」等感想の言葉があり終始和やかな雰囲気の中体験搭乗を終りました。

今後も各部隊の協力を得て、地域住民の方々に自衛隊を深く知ってもらおうと、さまざまな機会を捉えて募集・広報活動の基盤を拡充していきたいです。

（広報室 廣瀬）

研修には、防議連の先生8名及び県議会事務局から1名が参加し、航空自衛隊松島基地（以下、「松島基地」という。）多賀城駐屯地、仙台駐屯地を見学しました。

本研修初日は、松島基地及び多賀城駐屯地を研修しました。松島基地では、松島基地の概況についてブルーインパルス、F-2戦闘機及びブルーインパルス



ブルーインパルス(T-4)の前で記念撮影

これからの防衛省・自衛隊を身近に感じてもらえるとともに、自衛隊及び国防の重要性を少しでも理解していただければ幸いです。

（広報室 永野）

2日目は、仙台駐屯地を見学し、駐屯地の概要、東日本大震災の状況説明及び隊員が活動した地域を実地に研修しました。仙台市の海岸に面した地域は当時の被害規模がどれだけ大きかったのかがわかり、いまだに爪跡が残っていました。また、そこで奮闘した隊員達の活動の話を聞き、改めて自衛隊の重要性を認識して頂きました。

多賀城駐屯地では、駐屯地の一部が津波で浸水する中、地震発生直後から救難活動にあたった当時の状況について、記録映像等による説明を受けた後、駐屯地内の訓練場や被災後に新設された装備品倉庫等を研修しました。特に装備品倉庫では、災害派遣において速やかな初期活動が行える態勢が整っていることに部隊の即応性の高さを再認識した様子でありました。

愛媛県議会防衛議員連盟の宮城研修を支援

12月18日から同20日の間、愛媛県議会防衛議員連盟（以下「防議連」という。）研修の支援を実施しました。

の説明を現役パイロットから受けました。ブルーインパルスの現役パイロットとの記念撮影では、満面の笑みで写真に納まっていました。

多賀城駐屯地では、駐屯地の一部が津波で浸水する中、地震発生直後から救難活動にあたった当時の状況について、記録映像等による説明を受けた後、駐屯地内の訓練場や被災後に新設された装備品倉庫等を研修しました。特に装備品倉庫では、災害派遣において速やかな初期活動が行える態勢が整っていることに部隊の即応性の高さを再認識した様子でありました。

副本部長に着任して

本年4月1日付で自衛隊愛媛地方協力本部（愛媛地本）の副本部長に着任しました越智と申します。

私の出身地は、まさに地元の愛媛県松山市（旧北条市）滝本であり、キウイフルーツ、他各種野菜を作っている農家でもあります。

愛媛地本勤務は、過去に2年間勤務（平成19年～平成21年）した経験があり、その当時にいろいろとお世話になった方々をはじめとして、地元愛媛の皆様と再びいっしょに勤務させていただくことをたいへん光栄に思っております。

さて、皆様ご存知のとおり、防衛省・自衛隊を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあり、他国の脅威、大規模災害の発生等に対応する自衛隊に対し、国民の期待は、ますます高まっているものと思っております。

その自衛隊の崇高な使命を担う自衛隊員の募集業務、退職隊員の就職支援業務、予備自衛官業務、広報業務等を任務とする愛媛地本に対して、各協力団体の皆様、学校関係者の皆様及び地域の皆様から格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

愛媛地本は、今後とも副本部長要望事項である「愛媛地本一丸」を胸に、地本部長全員一丸となって任務達成に邁進したいと思っております。



副本部長 越智事務官

企業研修を実施

2月23日、太陽石油株式会社四国事業所及び隣接する施設である菊間国家石油備蓄基地の企業研修を実施しました。



熱心に聞き入る本部長以下地本部長

把握するものでありました。あわせて、狙いとしては、就職援護における新規雇用企業の開拓を見据え、企業との信頼関係を構築して、基盤強化を図るものでもありました。

はじめに、太陽石油株式会社四国事業所にて研修を実施、事業の概要や各施設のブリーフィングを受けた後、事業内の大規模な各設備を研修、災害等への対策状況等も確認することができました。また、その間を利用して別会場にて本部長、援護課長及び今治地域事務所長が四国事業所副所長に対し自衛隊愛媛地方協力本部の概要と自衛隊及び退職自衛官の援護制度に関する説明を行い、退職自衛官雇用への理解を求めました。

次に研修した菊間国家石油備蓄基地は全国に10ヶ所ある石油備蓄基地の一つであり、地下岩盤を掘削して構築された巨大な水封式地下備蓄施設であります。研修においてはブリーフィングを受けた後、備蓄基地内のメンテナンス及び保守を行うために併設されているトンネルの一部を研修し、巨大施設の維持管理と安全対策の難しさを痛感しました。

本研修を通じ、重要拠点に必要な情報を収集・確認するとともに、今後の連携についても認識の共有を図ることができました。

県内の渉外広報の要としての業務を進めるとともに、今後も県内各種企業等に対し、退職自衛官の援護制度の普及及び援護基盤の拡充を図るため、更なる施策を講じていきます。

(援護課 岩佐)

街の中心で自衛隊をPR!

3月18日～20日の間、松山市中心部の大街道、銀天街、まつちかタウン等で開催された「平成28年度お城下スプリングフェスタ2017」に参加しました。

このイベントはお城下スプリングフェスタ実行委員会が主催し、松山市の人口減少対策に関する啓発イベントで今回が5回目。毎年来場者数5万人を超えるビッグイベントであり、自衛隊が参加するのは今回が初めてでした。

初日と最終日は、松山市の中心部で大変賑わいがある大街道商店街アーケード内に、2日目はアーケードに隣接する千舟町通りを歩行者天国とし、ステージパフォーマンス等で盛り上がる会場に自衛隊ブースを設け、指揮通信車、オートバイ、1～2トトラックを配置しました。

あわせて熊本地震における活動紹介



指揮通信車を興味深そうに見ていました。

パネルや個人用器材等を展示して、約2500名のブース来場者に自衛隊をPRすることができました。

突如街中に現れた自衛隊車両に「何事ですか?」と驚く来場者もいましたが、イベントの一環であることを知ると、興味深々に展示物に触れ関心を持っていただきました。

自衛隊ブースは、イベント関係者や年配の方にも好評で、見慣れない指揮通信車を間近で見ようと来客が押しかけ長蛇の列ができました。また愛媛地方協力本部のオリジナルキャラクターも幅広い年代に人気で、グッズを手渡すと大変喜ばれました。

今回のイベントでは、街の中心部で若者が多数集まる商店街ということもあり、以前愛媛地方協力本部が実施した職場体験学習に参加してくれた中学生が声をかけてくれた思いがけない再会があったり、休日を街中で過ごす多くの学生にも自衛隊をアピールでき、地域の方々に自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図る良いきっかけとなりました。

今後さまざまな機会を活かして幅広く自衛隊をアピールしていきたいと思えます。

(広報室 関家)

移転しました

今治地域事務所

宇和島地域事務所



転出

鳥取地方協力本部へ
副本部長

防衛事務官 井上 隆弘

市ヶ谷駐屯地へ
援護課長

防衛事務官 猪股 正志

十条駐屯地へ
援護班長

防衛事務官 岩佐 悟

市ヶ谷駐屯地へ
予備自衛官係長

防衛事務官 寺澤 健介

今津駐屯地へ
募集係

防衛事務官 折原 正基
(以上4月1日付)

転入

新しい勤務地での活躍をお祈りしております。

副本部長

中部方面総監部から
防衛事務官 越智 泰司

援護課長

福井地方協力本部から
防衛事務官 山下 任陽

援護係長

海上自衛隊第1術科学校から
防衛事務官 中尾 和人

予備自衛官係長
大津駐屯地から

防衛事務官 眞岸 崇幸

募集係

青野原駐屯地から
防衛事務官 大森 康次
(以上4月1日付)

ようこそ愛媛地本へ!早く土地と人に馴染んで、愛媛地本の戦力として活躍をお願いします。

募集情報

イベント情報

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	時期	行事名	場所
幹部候補生	22歳以上26歳未満の者 (22歳未満で大卒見込含む) (修士課程(見込含)は28歳未満)	3月5日	5月13~14日	4月23日(日)	第14旅団創隊11周年	善通寺駐屯地
		5月5日		4月30日(日)		
	専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の者 薬剤は20歳以上30歳未満	5月13日	5月28日(日)	イオンコンサート	イオンモール今治新都市	
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	4月1日 5月5日	5月27日	6月18日(日)	ふれ愛コンサートin西条	西条市総合文化会館